

2025 年 11 月 20 日

報 道 機 関 各 位

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

「岩手新事業創造ファンド3号」による投資について
(株式会社カルディオインテリジェンス)

いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 新里 真士）と、株式会社岩手銀行（頭取 岩山 徹）等が共同で組成した「岩手新事業創造ファンド3号投資事業有限責任組合」は、心血管疾患の診断・治療支援を目的とした AI 医療機器の開発を行う株式会社カルディオインテリジェンス（以下「カルディオインテリジェンス」という、本社：東京都港区、代表取締役 CEO：田村 雄一）に投資を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

カルディオインテリジェンスでは、不整脈の一種である心房細動の検出を目的として行う長時間心電図検査の解析作業に対して、AI を活用した自動解析支援システム「SmartRobin」を提供しています。従来の解析方法は、医療従事者の負担が大きく、解析結果が出るまでも数週間の日数を要していました。AI による自動解析を用いることで、短時間/低コスト/省人化を可能にし、医療従事者の負担軽減と心房細動の早期発見に大きく寄与します。既に全国 150 以上の医療機関で導入され、実際に使用される AI 医療機器として普及が進んでいます。また、2024 年 12 月には新たなプログラム医療機器である「SmartPAFin」が薬事承認を取得しました。心房細動の兆候を検出し、心房細動発生を予測するサービスであり、潜在患者の発見を可能にします。

心房細動は不整脈の中で最も患者数が多く、心不全や脳梗塞を引き起こす原因になる病気です。高齢化社会を迎える国内では、今後さらに心房細動の患者数増加が見込まれており、解析作業の効率化による心房細動の早期発見に対するニーズは更に増加することが見込まれます。

本県は、医師不足や医療過疎の問題に直面していることに加え、急速に高齢化が進んでいることから、「医療×テクノロジー」が地域医療に与えるインパクトが大きいと判断し、投資を決定しました。

記

1. 投資決定先の概要

企 業 名	株式会社カルディオインテリジェンス
代 表 者	代表取締役 CEO 田村 雄一
本社所在地	東京都港区東麻布 1-25-5 VORT 麻布イースト 2 階
創 業 日	2019 年 10 月 25 日
事 業 内 容	人工知能を用いた自動診断システムの研究開発
投資額・方法	非公表・株式取得

2. ファンドの概要

名 称	岩手新事業創造ファンド3号投資事業有限責任組合
設 立 日	2023 年 6 月 30 日
ファンド規模	10 億円
出 資 者	無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル 株式会社 有限責任組合員：株式会社 岩手銀行 三井住友信託銀行 株式会社
期 間	投資期間 5 年、存続期間 10 年（ただし、必要があれば期間の満了日から 1 年毎に最長 2 年間の延長を行うこともあります）

[投資方針]

岩手県の経済の活性化に寄与することが期待される以下の企業について、投資を通じて育成を行い又は事業を支援することにより、組合契約期間中にこれらの企業の企業価値を向上させ、株式公開、株式譲渡、自己株式取得等により投資資本額以上の回収を図るよう努めます。

- （１）岩手県のベンチャー企業
- （２）岩手県出身者が経営する岩手県外のベンチャー企業
- （３）岩手県の経済活性化につながる岩手県外企業

3. ファンドのスキーム図

